

**【岡山県岡山市】
令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業
（合同部活動の推進に関する実証事業）**

自治体名	岡山県岡山市
担当課名	保健体育課
電話番号	086-803-1594

1. 自治体の基本情報

基本情報

人口	714,678人	部活動数	455部活
公立中学校数	中学校37校 義務教育学校1校	市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済（検討会）
公立中学校生徒数	17,034人	市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定済（推進方針） 策定準備中（推進計画）

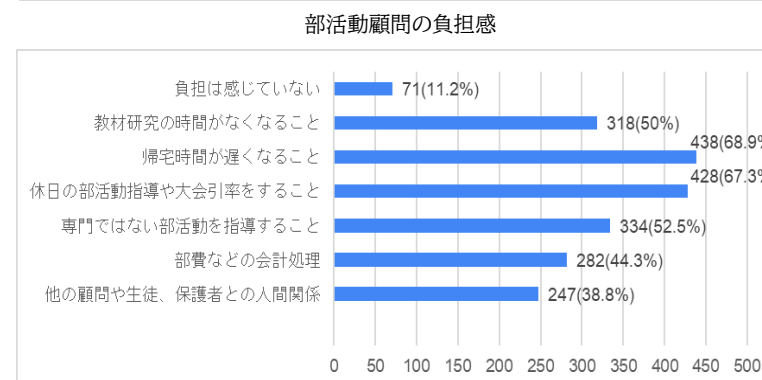
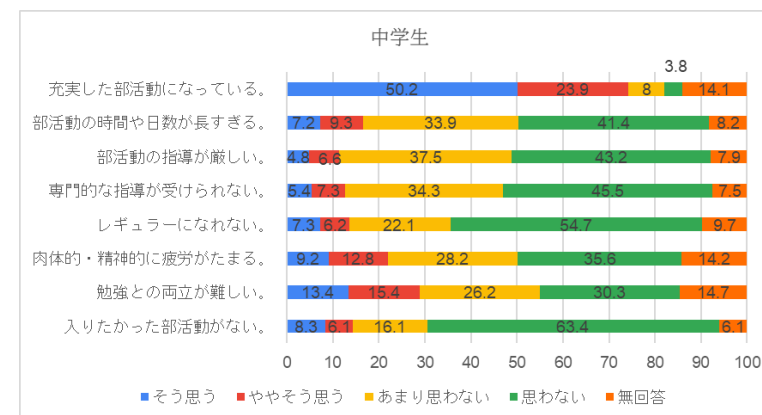
地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

本市は、少子化の進展により、中学校の生徒数や教職員数は減少している傾向である。それに伴い、部活動は廃部や休部、活動の縮小に追い込まれることが想定される。

生徒にとっては、現在の部活動が充実した活動になっている一方で、少数ではあるが自分のやりたい部活動がなく、あったとしても少ない部員数であることなどにより、活動が低調となり、魅力が感じられない状況が生じる可能性がある。このため、生徒の部活動離れを引き起こすという悪循環が生じ、部活動が衰退する恐れがある。

また、教職員の部活動指導に係る負担が増しており、学校における働き方改革が求められていることや、他方で生徒の育成は学校、家庭及び地域において担われている中で、地域のスポーツ・文化芸術団体や指導者、施設などの資源と学校との連携・協働が十分ではない状況もみられる。

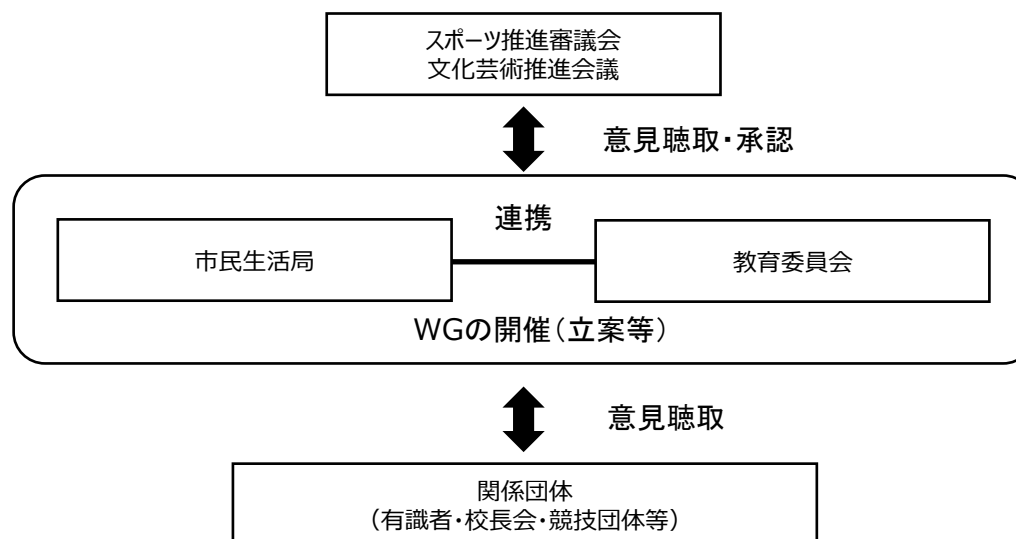
本市では、国の提言及びガイドラインの内容を踏まえ、令和5年3月に「岡山市立中学校部活動地域移行推進方針」を策定し、まずは休日の部活動から段階的な地域移行を目指している。（平日の地域移行も視野に入れ、できるところから取り組む。）その際、長年培われてきた「教師・生徒・保護者の関係性」や「部活動の教育的意義」を承継させつつ、関係者の理解を得ながら段階的に移行をしていくことが望ましいことから、当面は、学校部活動をベースに学校と地域が緩やかに連携していく形で取り組んでいる。



2. 実証内容と成果

運営体制・役割

▼事業実施体制図（市区町村と関係団体における推進体制図）



年間の事業スケジュール

時期	計画事項
4月	指導者と学校とのマッチング、指導者への任用前研修 指導者と学校との打ち合わせ
5月	指導者派遣開始（中旬以降）
6月	備前西地区中学校夏季体育大会
7月	岡山県中学校総合体育大会
8月	中国中学校体育大会・全国中学校体育大会・岡山市中学校総合体育大会 保護者・生徒・学校・指導者へのアンケート実施①
9月	第1回岡山市スポーツ推進審議会（進捗状況、結果検証・課題改善策、来年度の取組検討）
10月	備前西地区中学校秋季体育大会
11月	岡山県中学校秋季体育大会
12月	保護者・生徒・学校・指導者へのアンケート実施②
1月	第2回岡山市スポーツ推進審議会（進捗状況、結果検証・課題改善策検討）
2月	第3回岡山市スポーツ推進審議会（成果報告、来年度に向けた検討課題）
3月	事業完了報告書・成果報告書等の作成

2. 実証内容と成果

合同部活動の運営実績

参加校数	5校	実施した種目	バレーボール
合同部活動に取り組んだ部活動数	1部活		

主な取組例

▼活動概要

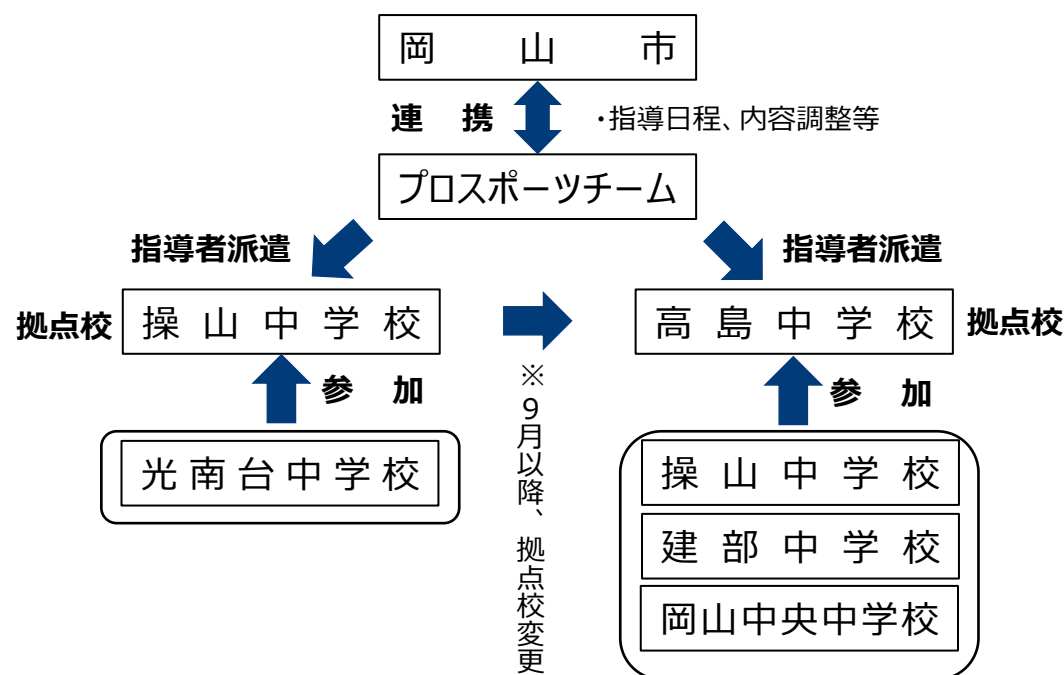
参加校名	操山中学校、光南台中学校、高島中学校 建部中学校、岡山中央中学校
実施した種目	バレーボール（男子）
1 か月あたりの平均的な活動回数	月20回程度（平日4回、休日1回）
顧問の属性	5校の教師が顧問を担当
指導者の主な属性	顧問）教師 技術指導）プロスポーツチームが指導者を派遣
活動場所	操山中学校・高島中学校
主な移動手段	自転車または保護者送迎
1人あたりの参加会費（年額）	0円/年
1人あたりの保険料	生徒1人あたり：460円/年（スポーツ振興センター）

▼参加校における役割分担

● 操山中学校・高島中学校【拠点校】

- ・拠点校として顧問教師の配置し、トラブル発生時の現場での初動対応
- ・トラブル発生時の自校の生徒・保護者への各種対応
- ・参加校間の定期的な連絡会等の開催・出席

▼運営体制図（合同部活動を実施する際の運営体制）



● 光南台中学校、建部中学校、岡山中央中学校

- ・自校の生徒の保険加入手続き
- ・トラブル発生時の自校の生徒・保護者への各種対応
- ・参加校間の定期的な連絡会等の開催・出席

2. 実証内容と成果

取組内容

取組事項

本市では、少子化に伴う部員数減少の影響を受けて、合同部活動（チーム）による活動が増加傾向にある。
令和5年度の中学校体育連盟主催夏季大会へ参加したチームのうち、合同チームによる出場は3種目14チームとなり、3年生が部活動を引退する9月以降の秋季大会では、4種目18チームに増加し、複数校での合同による活動が増加傾向にある。
合同部活動の推進や教員の負担軽減のため、プロスポーツチームから専門的な指導者を合同部活動へ派遣する取組を行った。

取組の成果

- ・中体連の規定に沿った合同チームから、非専門の顧問が指導している男子バレーボール部（2校合同）を選定した。
- ・専門性の高い市内プロスポーツチームと日程や指導内容を調整し、年2回指導者を派遣した。
- ・生徒の振り返りでは、「プロからわかりやすい指導を受けて、疑問が解消できた。」などの声があり、高い満足度を得ることができた。
- ・教員の振り返りでは、「合同で練習できない平日の練習についてのアドバイスが参考になった」などの声があり、高い満足度を得ることができた。

特に工夫した事項

- ・合同部活動の推進や教員の負担軽減のため、高い専門性のあるプロスポーツチームと連携した取組としたこと。
- ・合同部活動の指導に関するニーズについて、プロスポーツチームと協議をして練習内容などを工夫したこと。

今後の課題と対応方針

プロスポーツチームによる専門性の高い指導は、生徒や顧問にとって大変有意義なものとなった一方で、プロスポーツチームの試合日程などで指導可能な日程調整が困難であり、年間2回の指導のみとなった。今後、合同部活動による活動の集約化とプロスポーツチームの指導による地域連携について、引き続き協議・検討をしていく考えである。

2. 実証内容と成果

参考資料（アンケート結果、広報物、協議会等で使用した資料の抜粋等）

子どもたちがスポーツや文化芸術活動に親しみ
様々な体験をする機会を守るために

児童・生徒
保護者のみなさんへ

学校部活動を 地域全体で支える 取組をはじめます



◆ なぜ取り組むの？

少子化が進む中、休部や廃部など
学校部活動の縮小が見込まれ、維持
できなくなるおそれがあります。
学校で支えてきた部活動を地域も
一緒に支えることができる環境づく
りを進めていく必要があります。

◆ 国の方向性

まずは、休日部活動から
スポーツや文化芸術に関する様々な
人材・団体と連携しながら、計画的
に環境づくりに取り組む方針を示し
ています。

➡

◆ 岡山市の取り組み

学校部活動をベースに、学校と地域が
協力・連携した取り組みをはじめます。
(具体的な取り組み)
・地域の人材を部活動に派遣し、学校の
部活動顧問とともに、指導にあたる。
・部員数の少ない部活動において、近隣
の学校との合同化を図る。
・競技や種目等にとられない活動や、
レクリエーションのような活動など、
新たな活動ができる場の可能性につい
て検討する。

◎モデル事業をスタートします。

◆ 令和5年度のモデル事業では どんな取り組みをするの？

休日の部活動に指導者を派遣します

【指導者】スポーツ・文化芸術団体や大学などから

【内 容】原則、学校部活動として活動
顧問の先生とともに指導

【その他】モデル事業に係る保護者の費用負担はなし

令和5年度 モデル事業実施予定校

- ・京山中学校
- ・岡北中学校
- ・瀬戸中学校
- ・灘崎中学校
- ・操山中学校 (※)
- ・光南台中学校 (※)

(※) 操山中、光南台中は、
男子バレーボール部で実施予定



【令和5年2月生徒・保護者への周知チラシ】

2. 実証内容と成果

参考資料（活動写真）



【プロスポーツチーム指導者及び選手による指導】

3. 今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けた今後のロードマップ

